

令和7年度地区PTA指導者研修会

令和7年度高校生善行表彰

報告書

令和8年3月

静岡県公立高等学校PTA連合会

静岡県公立高等学校PTA連合会 会長あいさつ

令和7年度 会長 住吉 明

近年、PTA活動の形を見直す動きが全国で広がり、小中学校では活動の縮小や解散の話も聞かれるようになりました。少子化で一人ひとりの保護者の負担が大きくなっているのは確かで、仕事や家庭との両立に悩む方も多いと思います。私自身も、長男の高校入学をきっかけに本部役員として活動に関わり、時間のやりくりで苦労することがありました。

それでも、コロナ禍で学校行事が中止や縮小となり、生徒・先生・保護者のつながりが薄れかけたあの時期を経験したからこそ、人と人が支え合うことの大切さを強く感じています。PTAの原点は「教育の課題を共有し、みんなで考えること」「学び合い、交流すること」「地域とつながること」。そして何より、「子どもたちのために」という思いです。「できる人が、できる時に、できることを」そんな無理のない関わり方が、これからのPTAに求められるものではないでしょうか。

地区PTA指導者研修会は本会の大切な行事で、1,000名を超える方に毎年参加いただいています。本年度も11会場、計1,232名の会員に参加いただき、食育、メンタルヘルス、自己肯定感、地域企業、親子のコミュニケーションなど、幅広く学びを深めました。子どもたちを支える大人が学び続ける場をつくることも、PTAの大事な役割のひとつです。各地区の報告を通して、保護者同士のつながりや学びの楽しさを感じていただけたら幸いです。

最後になりますが、研修の企画・運営にご尽力くださった世話人校・担当校PTAの皆さまに心からの感謝を申し上げます。これからも家庭・地域・学校が力を合わせ、子どもたちの健やかな成長を支えるPTA活動を一緒に進めていきましょう。

【 目 次 】

賀茂地区PTA指導者研修会報告	P 1
三島・田方地区PTA指導者研修会報告	P 2
沼津・駿東地区PTA指導者研修会報告	P 4
富士・富士宮地区PTA指導者研修会報告	P 7
清水地区PTA指導者研修会報告	P 9
静岡地区PTA指導者研修会報告	P 11
志太・榛原地区PTA指導者研修会報告	P 13
掛川地区PTA指導者研修会報告	P 14
磐田地区PTA指導者研修会報告	P 15
浜松地区PTA指導者研修会報告	P 16
特別支援学校PTA指導者研修会	P 19
高校生善行表彰 表彰校・表彰者一覧	P 24
表彰式スナップショット	P 31

令和7年度静岡県公立高等学校PTA連合会 地区PTA指導者研修会（実績一覧）

地区名 (世話人校)	日時・会場 参加者数	研修テーマ・講演テーマなど
賀茂 (下田高校)	7月3日(木) 13:30～ 松崎高校 55名	研修テーマ「毎日のごはんが力になる！高校生の食事のコツ～スポーツ 栄養を中心に～」 講師 石井浩子氏(管理栄養士) 活動報告 賀茂地区4校
三島・田方 (韮山高校)	7月2日(水) 13:30～ 韮山文化センター 97名	研修テーマ「高校生の相談から見えてくるもの」 講師 三須友恵氏(特定非営利活動法人 臨床心理オフィス Be サポー ト 臨床心理士・公認心理師)
沼津・駿東 (沼津工業高 校)	7月3日(木) 13:00～ 沼津市立図書館 100名	研修テーマ「伝統と挑戦～創業百年 ものづくり企業が考える地域社会と の繋がり～」 講師 山本 陵氏(山本被服株式会社 代表取締役社長) 県研修会・東海大会報告 沼津東高校・御殿場高校
富士・富士宮 (富士市立高 校)	9月19日(金) 14:00～ ロゼシアター 209名	研修テーマ「自己肯定感と行動変容を育む『できたことノート実践講 座』」 講師 永谷 研氏(株式会社ネットマン 代表取締役社長) 活動発表① 「課題解決型のPTAの試み」富士高校 活動発表② 「PTA活動の問題点と解決方法について」富岳館高校
清水 (清水東高校)	9月5日(金) 14:30～ 清水テルサ 50名	研修テーマ「サッカー人生50年 夢と挫折と～みなさんに伝えたい こと～」 講師 武田修宏氏 (サッカー元日本代表 スポーツコメンテーター タレント)
静岡 (静岡高校)	10月11日(土) 13:30～ 教育会館 102名	研修テーマ「大人と子どものやる気をひきだすコミュニケーション」 講師 海原純子氏(心療内科医)
志太・榛原 (島田工業高 校)	7月1日(火) 13:00～ 焼津文化セン ター 小ホール 214名	研修テーマ(第1部)「一流の習慣術～世界のイチローの目標達成術～」 (第2部)「一流の指導者から学んだ人材育成」 講師 奥村幸治氏(ベースボールスピリッツ 代表)
掛川 (小笠高校)	7月4日(金) 14:00～ ふじのくに茶の 都ミュージアム 68名	研修テーマ 「お茶がつなぐ家族のだんらん」 講師 戸塚彩子氏(日本茶インストラクター) 施設見学 ふじのくに茶の都ミュージアム見学
磐田 (磐田農業高 校)	7月24日(木) 13:30～ ワークピア磐田 115名	研修テーマ「誇り高く生きるための心の根っこづくり～大人になる高校 生に知ってほしいことと保護者ができること～」 講師 塩崎明子氏(命つながる家系図(株)みそら 代表取締役) 県研修会・東海大会報告 磐田北高校
浜松 (浜松工業高 校)	6月13日(金) 14:00～ 浜松呉竹荘 100名	研修テーマ「多様性(Diversity)が問いかける日本の教育課題 ～ア メリカの教育研究・実践における『特権』概念から考える ～」 講師 渋谷 恵氏(明治学院大学心理学部 教育発達学科) 分科会「PTA活動再考～今とこれからの語ろう～」 情報交換会
特別支援 (静岡聴覚特 支)	6月7日(土) 総会 67名 1月24日(土) 講演会 55名 あざれあ	総会 令和6年度事業報告・決算報告、令和7年度事業計画・予算案 研修テーマ(講演会) 「“できない”を“できる”に変える力～障害と共に生きる、 私の半生とデフリンピックへの挑戦～」 講師 船川真央氏(デフリンピックレスリング日本代表)

参加者 計1,232名(全県)

賀茂地区

期 日 7月3日(木)

会 場 静岡県立松崎高等学校 龍門館

参加数 55名

1 開会のことば

松崎高等学校PTA 副会長 山本貴一

2 当番校PTA会長挨拶

松崎高等学校PTA 会長 山本実千代

3 賀茂地区高等学校代表校長挨拶

松崎高等学校校長 矢野あおい

4 来賓挨拶

静岡県公立高等学校PTA連合会 副会長 杉山大一

5 各校PTA活動報告

稲取高等学校PTA 会長 半田朝子

下田高等学校南伊豆分校PTA 会長 横山広美

下田高等学校PTA 会長 天野美香

松崎高等学校PTA 会長 山本実千代

6 講師紹介

松崎高等学校PTA 副会長 山本貴一

7 講演

講師 石井浩子氏 (管理栄養士・公認スポーツ栄養士)

演題 「毎日のごはんが力になる！高校生の食事のコツ

～スポーツ栄養を中心に～

静岡県を拠点に、行政委託の特定保健指導や介護予防講座で食育についての講演などを行っています。また、公認スポーツ栄養士の資格を活かし、部活動サポート、スポーツジムでの栄養指導、スポーツ栄養講座などを行い、子供からスポーツ愛好家まで幅広くスポーツと栄養について伝える活動をしています。

なぜ、食事が大切なのか？健康なからだづくりには3つの要素となる「運動」「休養

(睡眠)」「栄養(食事)」が大切です。この3つの要素が一つでも崩れてしまうと体調に支障をきたしてしまいます。特に高校生は、健康であるためにも食事をバランスよく食べることが重要です。食事をバランスよく食べることにより、「新陳代謝を良好に行える」「今を生きるため、生活をする力になる」につながります。高校生にバランスの良い食事をするために保護者の方は悩むことがあると思いますが、6つのお皿(主食、主菜、副菜、汁物、果物、牛乳・乳



あいさつする県高P連杉山副会長



講演をする石井氏



講演中の保護者の様子

製品)を意識して献立を考えてみましょう。6つのお皿をそろえるのも大変と考えてしまいますが、例えば、酢豚(主菜・副菜)、カレーライス(主食・主菜・副菜)、クリームシチュー(主菜・副菜・牛乳)といった合わせ技で食事のバランスを整えることができます。

講演の最後の質疑応答では、熱中症対策に適しているスポーツドリンクや塩分タブレットの使い方についてアドバイスをいただきました。個々の

好みに応じてスポーツドリンクを選ぶことやスポーツドリンクや塩分タブレットの後味が気になる人は、最後に一口水を飲むことでさっぱりできることを教えていただきました。出席した高校生を持つ保護者の方や、教職員も真剣に聞き入っている様子であり、大変有意義な時間でした。

8 謝辞

松崎高等学校 P T A 会長 山本実千代

9 閉会のことば

稲取高等学校 P T A 会長 半田朝子



謝辞を述べる山本会長

(松崎高等学校 教諭 稲本麻美)

三島・田方地区

期 日 7月2日(水)

会 場 韮山文化センター 大ホール

参加数 97名

1 開会のことば

韮山高等学校 P T A 副会長 小林弘之介

2 来賓挨拶

静岡県公立高等学校 P T A 連合会 顧問 佐野孝之

3 担当校 P T A 会長挨拶 韮山高等学校 P T A 会長 石渡陽次

4 担当校 学校長挨拶 韮山高等学校 校長 三枝美保子

5 講演

講師紹介 韮山高等学校 P T A 副会長 鈴木照徳

講師 三須友恵氏 (特定非営利活動法人臨床心理オフィス Beサポート
臨床心理士・公認心理師)

演題 「高校生の相談から見えてくるもの」

スクールカウンセラーとして多くの高校生と接してきた三須先生の経験を踏まえて、現代の高校生の特徴や対応の方法等を講話してくださった。思春期の高校生の特徴として見られることは、自分らしさを探る時期であり、自分を確立する時期でもある。その時に親から自立したい気持ちと親に甘えたい時期とが揺れる時期でもある。仲間からの影響も強く受ける時期である。不登校等で相談にくる高校生の状況は、自分のことを話せない、ストレスに無自覚、悩むことをよくないと思う価値観等を持っている。ほどほどの失敗経験がない



石渡会長挨拶

ので、失敗から学びリカバリーする能力が育たず、失敗を恐れる傾向がある。失敗経験を持たせながら、高校生の発達を促すために、子供たちの行動を見守ることが大事である。高校生を持つ親御さんからみれば、見守る我慢はかなり大変であるが、子供の発達のためには重要である。また、見守るだけでなく手助けをするというバランスが非常に大事で、その両方を意識して子供の成長を手助けしていく。最近の高校生の特徴としてライフスキルが不足している子供が多くなっている。特に不登校になる生徒は、ライフスキルが非常に不足していることが多く、自分で決断できない、カウンセリングに来たのに相談できないなど、基本的な人と話すスキルや自分のおかれている状況についての判断ができないことが見られる。講演の中ではWHOが定義する10個のライフスキルを提示した。



講演風景

①意思決定②問題解決③創造的思考④批判的思考⑤効果的コミュニケーション⑥対人関係スキル⑦自己認識⑧共感性⑨情動への対処⑩ストレスコントロールである。これらのライフスキルの不足が特に、最近の高校生はカウンセリングにきても黙ってしまい、話すことができなくなることが多い。カウンセリングをなぜ勧められたのか、困っていること悩んでいることを語れない、伝え方がわからない等自分自身で問題を解決する経験が少ないので、まずライフスキルを向上

させる導入を持ってくるようにカウンセリングを行っているそうである。まず本人の好きなこと的话题を振り、会話や説明を通して、悩んでいることや困っていることに気づかせる方法を行っているそうである。親世代が生きていた時には、直面した問題に対して、当たり前前に解決してきたことが今の高校生には経験がないためできないことがある。成功・失敗、勝利・敗北、喜び・悲しみ、安心・不安など様々な経験が子供達の成長につながるという話で講話が終了した。三須先生の講話では自らのカウンセリング体験を通して得た、最近の高校生との対話の手法を、保護者の方にもわかりやすくかつ実践できるように説明されていた。

6 質疑応答

7 謝辞 韮山高等学校 P T A 会長 石渡陽次



質疑応答の様子



花束贈呈

8 講評 次年度研修担当校

田方農業高等学校 副校長 植平充彦

9 閉会のことば 次年度研修担当校

田方農業高等学校 P T A 会長 大川大輔

(韮山高等学校 教諭 渡邊充司)

沼津・駿東地区

期 日 7月3日(木)

会 場 沼津市立図書館

参加数 100名

1 全体会(開会式)

司会 沼津商業高等学校 P T A 進路学習部長 神谷真美

(1) 開会の言葉

裾野高等学校 P T A 進路学習副部長 小嶋えりか

(2) 幹事校 P T A 会長挨拶

沼津工業高等学校 P T A 会長 辻克浩

(3) 幹事校校長挨拶

沼津工業高等学校 校長 鈴木広隆

(4) 来賓挨拶

静岡県公立高等学校 P T A 連合会

副会長 河田憲一郎

2 講演

講師 山本陵氏(山本被服株式会社)

代表取締役社長)

演題 「伝統と挑戦～創業百年 ものづくり企業が考える地域社会との繋がり～」

沼津市に本社を構える「山本被服株式会社」は、1923年にアメリカ・ロサンゼルスで創業された、百年以上の歴史を持つ縫製会社です。実は、日本で最も早くジーンズを製造した企業のひとつであることが、創業百周年を迎えた今、明らかになりました。現在は、企業向けの作業着を中心に製造しており、



全体会の様子

ホンダの工場で使われる白い作業服も手がけています。また、百年前のデザインを復刻したブランド「STAR OVERALL（スターオーバーオール）」では、オーバーオールやカバーオールなどをクラウドファンディングで製造・販売し、ネットショップでも購入できます。地域とのつながりを大切にしており、Jリーグ・アスルクラロ沼津には、選手の移動用スーツを提供。試合会場ではオーバーオールの販売ブースも出店し、サポーターの皆さんが同じ服を着て応援する姿が見られます。

さらに、静岡県立こども病院と協力して「耳が痛くならない枕」を開発したり、熱海国際医療大学病院と共同で「抜管防止ミトン」を製作したりするなど、地域医療への貢献も行っています。

● P T A活動との連携

山本被服株式会社は、地域の学校とも連携し、P T A活動を支援しています。学校行事やバザーでは、保護者や先生方が使いやすいエプロンや作業着を提供。防災訓練では、子どもたちと一緒に防災グッズを作るワークショップを開催するなど、ものづくりの楽しさを伝える活動も行っています。地域の子どもの成長を応援し、保護者・教職員・企業が一体となって地域を盛り上げる取り組みを続けている企業です。

● 山本被服株式会社の活動から学ぶ ～地域とともに歩む企業の姿勢～

山本被服株式会社の取り組みから学べる教訓として、以下のいくつかの取組があげられました。

① 地域とのつながりを大切にすること

企業が地域の学校やスポーツチーム、医療機関と協力することで、地域全体が元気になります。P T A活動への協力や、子どもたちへのものづくり体験の提供は、教育と地域の架け橋となる大切な取り組みです。

② 歴史を活かし、未来につなげる姿勢

百年前の技術やデザインを現代に復刻し、新しい形で販売することで、過去の価値を未来に活かすことができます。これは、伝統を守りながらも時代に合わせて進化することの大切さを教えてくれます。

③ 技術を人のために使うこと

縫製技術を活かして医療用の枕やミトンを開発するなど、「人の役に立つものづくり」を実践しています。自分たちの得意なことを、誰かの困りごとを解決するために使う姿勢は、子どもたちにも伝えたい大切な価値観です。

④ 地元を応援する気持ち

地元のサッカーチームへの支援や、地域イベントへの参加など、企業が地域を応援することで、住民の一体感が生まれます。「みんなで応援する」「みんなで盛り上げる」ことの楽しさと意義を感じられます。

お礼の言葉

沼津商業高等学校 P T A 副会長 假屋貴代江

3 グループワーク

5、6名のグループを15グループ作り、各グループで自己紹介をした。「P T Aの在り方について」をテーマに各校での現状を共有するとともに、これからP T A活動がどう進んでいったらよいか話し合った。



講師へのお礼の言葉

4 全体会

(1) 研修会報告

○沼津東高等学校 P T A 副会長 木村昌宏

6月4日(水)にホテルグランヒルズ静岡で開催された静岡県高P連総会・研修会報告

「驚くべき笑顔の力 表情筋ストレッチで脳から身体を 健やかに」

上田真弓氏(笑顔の時間代表)

人間の脳は作り笑顔か本当の笑顔かの違いを区別できない。50歳を超えてくると怒ったような顔に。重力に負けるから「日常に作り笑顔を

！」顔の筋肉(表情筋)を動かすのは健康面・精神面に良い。「脳」に繋がっているのに、楽しくもないのに笑えないは逆。錯覚の帰属(心理学用語)。笑顔だから楽しくなる。しんどい時こそ顔を動かす。表情を動かすとよい。「顔は形状記憶」鏡を見るたびに笑顔を作ることを鏡笑法。鏡でチェックするのは身だしなみでなく表情が大切。笑顔の作り方は、目の形はアーチ、頬は左右対称、口元は上の歯だけを見せる。これがそろそろ上品な笑顔に見られる。その笑顔に近いのがペ・ヨンジュン氏。彼は研究されつくされた笑顔の持ち主である。

○御殿場高等学校 教諭 中里武志

6月27日(金)に清水マリナートで開催した東海地区高P連静岡大会報告
研究協議① 浜松特別支援学校 P T A 会長 渥美祥子氏

「サステナブルな P T A 活動を目指して」

できることを、できるタイミングで」保護者が活動内容と時期を自由に選べる仕組みを作り、令和5年度より P T A 活動ではなく「応援隊活動」をスタートした。主体的に参加できるサステナブルな P T A 活動の推進。保護者が過度な負担を感じず、子どもたちのために多くの応援ができるようになっていくことが望ましい。

研究協議② 岐阜県 岐阜女子高等学校 育友会

「本校の育友会活動」

育友会の活動報告とともに課題を挙げていただいた。

講演 金沢大学 教授 金間大介氏

「素直でまじめで優秀、でも主体性がないそんな『いい子症候群の若者たち』と共に前に進むために」

現代の日本では、周囲に合わせて「いい子」でいる若者が増えている。これは失敗を避ける教育や、所属を重視する社会構造が影響している。さらに効率を重視する「タイパ志向」が広まり、深い思考や挑戦が減っている。こうした風潮は個人の成長や社会の活力を弱める可能性がある。今こそ、失敗を恐れず、自分の意見を持つことの大切さを見直す必要がある。

5 閉会の言葉

沼津東高等学校 P T A 副会長 永田光浩

(沼津工業高等学校 教諭 山本恵)



グループワーク発表



閉会の言葉

富士・富士宮地区

期 日 9月19日(金)

会 場 ロゼシアター 小ホール

参加数 209名

司 会 富士市立高校PTA 副会長 佐野久美子

- 1 開会の言葉 富士宮東高校PTA 会長 井出由佳子
- 2 挨拶 富士市立高校PTA 会長 菅野大樹
- 3 来賓祝辞 静岡県公立高等学校PTA連合会 顧問 諏訪部孝敏
- 4 当番校挨拶 富士市立高校 校長 櫻井祥行



あいさつする菅野会長



祝辞を述べる県高P連諏訪部顧問

5 活動発表①

テーマ「課題解決型のPTAの試み」

富士高校PTA 会長 小池義治

(1) 富士高校の紹介

卒業生が様々な分野で活躍しており、特に旧吉原市出身の戸塚洋二氏は、ニュートリノ振動の発見により、ニュートリノに質量があることを突き止めた。66歳という若さで亡くなったが、存命であれば間違いなくノーベル物理学賞を取ったであろうという功績を残された。

(2) 富士高PTAの紹介

研修旅行を毎年計画し、大型バス2台を貸切っている。今年度は、東大への訪問を計画している。

(3) 題解決型のPTA

学校から豎堀駅までの通学路が、夕方以降暗くなり危険であることから、防犯対策のために、市からの補助金を含め、PTA会費からも捻出し、防犯用に街路灯を計3機設置することができた。次回は防犯カメラを駅に設置する予定である。

(4) 今後のPTA

役員、子供たちの未来を救うための活動を試み、PTAの存在意義を考え、周りとのつながりを、大事にしていきたい。



発表する小池会長

6 活動発表②

テーマ「P T A活動の問題点と解決方法について」

富岳館高等学校P T A 会長 並木和之

本校は、1900年に富士農林学校として開校し、1942年に静岡県立富士宮農業高校に名称を変更し、さらに、2002年に静岡県立富岳館高等学校として名称を変更し総合学科高校として新たなスタートを切った。本校の特長は総合学科で1年次に共通科目を、2・3年次には7つの系列にわかれ共通科目と選択科目を学ぶ。系列には、普通系列として人文科学、自然科学やキャリア教養がある。専門系列として生物生命、工業テクノロジー、情報ビジネス、こども福祉などがあり、それぞれ興味関心に応じて学んでいる。部活動は、野球部、サッカー部をはじめ弓道部や地域探究部や動物愛護部などがあり、意欲的に活動している。



発表する並木会長

P T A活動では本部役員会や生活委員会などがある。例年入学時にP T A活動の説明と本部役員決めを行っている。しかし、P T A役員を選出法や未加入者の発生などの問題があり、対応に苦慮している。今後は、P T A活動に向けて適正な役員数や運営方法などについて考えていく。

7 講演

講師 株式会社ネットマン 代表取締役社長 永谷研一 氏

演題 「自己肯定感と行動変容を育む『できたことノート実践講座』」

【自己肯定感が低い人の3つの特徴】

- ① 誉めや感謝の言葉を素直に受け止められない
- ② 忠告されたときに怒りが沸き上がる
- ③ 失敗したときに言い訳ばかりする

できたことノートでは、左側にできたことを1週間記録し、右側に週に一回できたことを1つピックアップして、4つの要素で内省する。具体的に何があったのか、なぜできたか、今素直にどう感じているか、明日からどんな工夫をするかの4点。さらに、



永谷氏の講演光景

ノートの日付の下に感情マークを書くことが大切である。素直な気持ちを表現することにつながる。反省させると犯罪者になるという本があるように、無理やり反省文を書かせたりすることは逆効果である。マイナスの感情と向き合うことが大事でそれがプラスに繋がる（好転）。

インサイドヘッド・インサイドヘッド2などの映画は、マイナスの感情を見てコントロールすることの典型例である。仲良しとリスペクトは異なる。誰にでも、欠点はあるが良いところがあるのも確かで、仲が悪い嫌な奴でも、相手のあれはすごい、これはすごいとリスペクトしあうことが大事。価値観は一人ひとり異なる。

【できたことを見つける方法】

3つの眼鏡（Happy眼鏡：感情に着目眼鏡 Number眼鏡：数に注目 Person眼鏡：相手に着目）を使用する。ペアワークで、できたこと自慢大会をし、お互いにできたことを褒め合った。その次に、瞑想タイムを取り、なぜできたのか、自分は何を大切にしているのか、自分の価値観・信条ってなんだろうと自分に問いかけた。できたことのどの点が自分の喜びだったのか、何がうれしかったのか、何が気持ちよかったのか、何が楽しかったのか、何がエキサイティングだったのか、何が好きなのか、など。できたことノートは、できなかったことノートにもなるが、アプローチが違う。肯定されて反省して足りないこと（不安）が次の行動につながる。否定から入ると、行動できなくなる。



講演会終了後にできぴよんと
記念撮影

8 講評 富士宮西高校 校長 鈴木邦浩

9 閉会の言葉 富士宮西高校PTA 会長 松永朝日

(富士市立高等学校 教諭 勝又誠)

清水地区

期 日 9月5日(金)

会 場 静岡市東部勤労福祉センター「清水テルサ」

参加数 50名

司 会 清水東高等学校PTA 副会長 大石和徳

1 開会の言葉 清水東高等学校PTA 副会長 鳥居塚安伸

2 挨拶

清水東高等学校PTA 会長 石川貴大

清水東高等学校 校長 井島秀樹

3 来賓挨拶

静岡県公立高等学校PTA連合会 事務局長 鈴木伸彦

4 講演

講師 武田修宏氏(サッカー元日本代表、スポーツコメンテーター、タレント)

演題 「サッカー人生50年 夢と挫折と～今みなさんに伝えたいこと～」

講演は、サッカー元日本代表の武田修宏氏をお迎えしました。当日は台風15号が最接近した時間帯。主幹道路の冠水や一部河川が氾濫、JR線・静岡鉄道とも一時運休になる状況下、タクシーに飛び乗り、スマホでこまめにチェックし、通行止め箇所を避け、的確な迂回ルートで見事開会時間前に到着されました！

武田さんは1967年浜松市生まれ、清水東高等学校出身、在学中は高校1年時に全国サッカー選手権県大会4冠獲得、全国大会準優勝に貢献、卒業後は読売サッカークラブへ入団、その後はヴェルディ川崎の中心選手として、最優秀選手賞獲得・日本代表選出、いくつかのチームを経て引退。引退後は、タレント・

サッカー解説者など多方面で活躍、近年は名古屋グランパス臨時コーチを務め指導者に意欲を示されています。

小学生時代は「天才サッカー少年」と呼ばれ、中学では日本ジュニアユース得点王、中学卒業後は地元浜松を離れ、清水東高等学校へ進学。有名な「清水東三羽鳥」がいるメンバー内で1年時からセンターフォワードとして全国準優勝、国体優勝に貢献、自身としても日本ユース代表として活躍されました。一方で、小学時代は、両親共働きで帰りが遅く、練習後、お兄様と二人で自炊された話

や、高校進学時は、当時越境入学するケースがなく、「故郷を捨てる裏切り者」と新聞に叩かれ、お母様が仕事を辞めてまで清水へ移住された等、ご家族の苦労も多々あったそうです。高校卒業後、Jリーグ発足前のJSL1部読売クラブ入団、初年度から新人王、ベストイレブン、最優秀選手賞を受賞し、日本代表に選出され得点も記録されました。これらの活躍とルックスやファッションセンス



講師の武田修宏氏

の良さからドキュメンタリー番組・ファッション誌に取り上げられる異例の扱いを受けたそうです。Jリーグ発足後は「ヴェルディ川崎」として、三浦知良選手・ラモス瑠偉選手・北澤豪選手らと黄金時代を築かれました。日本代表として「ドーハの悲劇」として有名な試合にも出場されました。以降、国内チームの移籍、パラグアイやブラジルへの挑戦、ヴェルディへの復帰そして現役引退されました。華やかなご活躍、サッカー界を超えたスポーツ選手との交流話、失意からの海外挑戦、大変興味深いお話でした。

引退後は、サッカー解説者や新聞コラム執筆、タレントとして活躍の中、スペイン語会話番組へ出演された経歴のお話もされていました。同時に、サッカー指導者としての道を探求され、昨年は名古屋グランパス臨時コーチとして優勝に貢献。バラエティ番組の制作過程、詳細に進行やセリフが書かれている台本の話、コロナ前後での心境の変化、サッカー指導者としての強い思いが印象に残りました。全体を通して、観察力や分析力を徹底し、その通りいかなかった場合の対応力が重要というお話をいただきました。保護者として、子供が挫折や壁にぶつかった時の対処法を、武田さんのパッションや経験談から学ぶことができました。個人的には、Jリーグ発足前、高校サッカー選手が大スターだった時代に小学生だった自分としては、OB武田さんがどれだけ憧れの存在だったかを思い出し、ワクワクしっぱなしの講演でした。



映像や動画を交えた講演内容



講師と主催者で記念撮影

- 5 お礼の言葉 清水東高等学校PTA 本部役員 鈴木明日香
- 6 花束贈呈 清水東高等学校PTA 本部役員 今井美奈子

- 7 閉会のことば 清水東高等学校 P T A 副会長 豊田邦和
(清水東高等学校 P T A 本部役員 飯田昌弘)

静岡地区

期 日 10月11日(土)
会 場 静岡県教育会館 大会議室
参加数 102名

- 1 開会の言葉
静岡高等学校 P T A 会長 青島弘卓
- 2 高 P 連会長あいさつ
静岡県公立高等学校 P T A 連合会
副会長 山本泰三
- 3 世話人校校長あいさつ
静岡高等学校 校長 織田敦
- 4 日程説明 静岡高等学校 P T A 理事 橋田元樹
- 5 全体会



青島会長のあいさつ

- (1) 静岡高校の部活動紹介 マンドリン部・弦楽合奏部の演奏
- (2) 基調講演

講師 海原純子氏(医学博士・心療内科医)

演題 「大人とこどものやる気をひきだすコミュニケーション」

皆さん、こんにちは。ご紹介ありがとうございます。

「心の健康」が今日のテーマです。心の健康のサインを知る方法、やる気が出ない時にどうしたらいいのか、ストレスに関する基礎知識を中心にお話をさせていただきます。



海原氏の講演の様子

体に原因不明の痛みが出ていた女性。全身の左半分に痛みが出て、ちょうど体の半分なので脳か神経系の病気ではないかということで調べてみましたが、原因が分からない。様子を見たんですけど、痛みはどんどん酷くなるし仕事もできないという時に相談を受けました。当時、ストレスで体に変化が出ることが、そんなに知られてない時代でした。お話を聞くと、会社の左側にすごく嫌な人がいる。金曜日の夜、仕事終わろうと思っているところにボンと仕事来るといいう事が何度も続いた。嫌な顔をしないで引き受けていたら、体が痛くなった。つまり言葉でNOと言わない人は、体でNOを表わします。体の症状は心の声なので、見逃さないで気づくことが心の健康の第一歩になります。

やる気の問題です。最近病気ではないけど元気がなくてやる気が出ないという患者さんがいる。やる気っていうのは心のエネルギーです。「活気がないから

やる気がない」というのは当たり前なんです。つまり、やる気が出ないというのは、何らかの原因で心が疲れている。原因になっている、疲れの元のストレスについて知ることが大事になる。良い人はストレスを溜めてしまうことが多い。我慢しすぎ、感情を抑えて、辛くても思っていることを簡単に口に出せなくて、自分だけ我慢して、人の期待に応えたい。すごい良い人です。こういう人は、都合の良い人にな



質疑応答の様子

なってしまっていて、適応障害で鬱になりやすい。いつも感情を抑えているから、自分の感情が分からない。お腹空いた時、何かちょっと食べよう思っているけど、食べられない状況が続くと、どうしてもよくなっちゃう時がある。感情はその状態でなく、失感情症、悲しいのか何だか分からない、これは危険で過剰適応になる。ちょっと怒りっぽくイライラして、我慢できないと思った後に、大爆発するようなことがある。

良い完璧主義の適応的完璧主義は、高い目標を目指して、簡単な課題だけでなく難しい課題にも挑戦し、最高の水準を目指し、自分の能力を最大に引き出そうという理想を持つこと。目指してもうまくいかないときは、目指したというプロセスを大事にする。ダメな完璧主義の不適応的完璧主義は、高い目標を目指して、ちょっと失敗したら評価が下がる、ちょっとミスしたら終わり、完璧に全部できないと意味がない、こんな考え方が不適応的完璧主義。今の日本では、失敗しないようなところでしか動かない人たちがすごく多くて、ちいさく縮こまって残念な気がします。ネガティブスパイラルに陥らない、鬱にならないための緊急処置として、3対1の法則という心の救急箱を作っておく。それは、何かちょっとやると気分がホッとするものをいっぱい作っておく。深呼吸・伸び・外歩く・お茶を飲む・猫を撫でるなど、ちょっと気分が変わる簡単なことをたくさん作っておく。それを、ガンとショックを受けたときに、3つ行くと負のスパイラルに入らなくて済む。これは意外に重要で、その時の気分を変える要因になる。なぜそうなった考える前にやる。すぐできることなのでぜひ覚えてください。

心の中に「ふと」これやってみたい、「ふと」ここに行きたいとか、たくさんあります。私は「ふと」というのは、天使のきらめきだと思っています。ただそれをやろうと思っても、時間が無いときがある。そんなときは、ノートに書き書き写しておいて、時間ができたときに見返すと、自分の一番大事なところと繋がっていきける。

皆さんがお子さんと話しているときに「キラッ」と光るものがあつたらそこを大事にしていただきたい。サッカーを見てサッカー選手になりたいと言ったときに、「何を言っている、なれるわけない」と言えば潰れてしまう。別にサッカー選手にならなくてもいい。サッカーを夢中になってやることで、何かが生まれること・掴めるものはたくさんあります。

昔ジャズを辞めたのは、日本人だし、英語の発音だってネイティブじゃないからジャズなんてやってもしょうがないと思って音楽を辞めました。ただ、ま

た音楽、またジャズを始めました。多分一生やったって、ネイティブのように歌えません。それはわかってるんだけど、じゃあなんでやるんだというと、それは、詩人の坂村真民さんが「鈍刀を磨く」の中で私たちに伝えてくれています。錆びた刀を一生懸命磨いている人がいる。周りの人は、「磨いても、ピカピカにはなりませんよ」という、磨いている人は、「いいんです。刀は光らないかもしれない。でも磨き続けると、磨く私を光らせてくれる」そんな内容の詩です。去年よりも今年のほうが進歩している、人にはわからないかもしれない。でも自分の中でちょっとずつ見える進歩っていうのがある。それを見れるのは幸せです。そんなこともあって音楽を続けています。今日は私のお話を聞いていただきありがとうございました。暮れにまた12月に小さなライブをやりまので、興味がある方は、ぜひ、このような格好をしてない私も見ていただければと思います。今日は本当にありがとうございました。

6 来年度開催校あいさつ 駿河総合高等学校 P T A 副会長 影山利枝

7 閉会の言葉 静岡高等学校 P T A 理事 橋田元樹

(静岡農業高等学校 教諭 飯田英毅)

志太・榛原地区

期 日 7月1日(火)

会 場 焼津文化センター 小ホール

参加数 214名

1 開会式

司 会 島田工業高等学校 P T A

副会長 西畑直希

2 主管校代表挨拶

島田工業高等学校 P T A 会長 羽山徹

3 来賓挨拶

静岡県公立高等学校 P T A 連合会 副会長 山本泰三

4 講演 『テレビ寺子屋』公開収録講演

講師 ベースボールスピリッツ代表 奥村幸治氏

演題 (第1部)『一流の習慣術～世界のイチローの目標達成術～』

アメリカでは「強い身体と運を掴むことが大事」だとメジャー選手の全員が言う。またファンを大切に、応援される選手は技術より人間性の高い人であるということ意識している。イチロー選手は常に「今日の試合に早く行きたい」「早くバットを振りたい」「早く練習したい」といった前向きな気持ちを大切に、プラス思考を持ち続けている。「どうすればそれだけのヒットが打てるのか」という質問に対し、イチロー選手は「常に上達したいという気持ちを持ち続けることが最も難しい」と答えた。イチロー選手はこの気持ちを作り出すことが最も得意であり、さらに技術は心に支えられているもので、心の持ち方次第でどのようにもなるとも考えていた。ヒットが出なくても不安だからと過度に練習するのではなく、「バットが持ちたくて、持ちたくてしょうがない」という



あいさつをする羽山会長



講演をする奥村氏

最高の状態でグラウンドに立つことを意識した。過度な練習は体を疲れさせ、本来の技術が出せなくなってしまう為、精神的なコントロールが重要。また目標は「頑張ったら手が届くところ」に設定することも重要であり、高すぎる目標は達成できなかった時の挫折感やモチベーションの低下、諦めにもつながる。小さな達成感を積み重ねることで充実した日々を送ることができ、プラス思考が維持できる。

演題 (第2部)『一流の指導者から学んだ人材育成』

2045年のシンギュラリティに向け、ロボットは仕事ができるが「リーダー」にはなれない。2-6-2のイメージ。6は自主性、期待通りの結果を出せるのでここがロボットに代わる。前の2は「負けず嫌い」であるが最近では負けず嫌いの人が減少している。主体性、新たな発想をするために「やらされる」を「やる」に変えること、先ずは自分自身で「考える」ことが大事。コーチングで大切なことは3つある。①自分の実力がないと成功しない(努力が当たり前である)②運(人との出会い、言葉の力)③習慣(ルーティン)同じウォーミングアップ等、同じことをすると自分の状態に気づきやすい。自分自身の質を下げない、チームの質を下げない為にもルーティンが大切。近年よくある「何でもあり」は子どもたちの成長に繋がりにくい(難しい)。成長にはある程度の「決まり」や「ルール」をつくる必要があり、一流の人は「マイナス」を「プラス」に変えることができる。



あいさつをする飯田校長

5 質疑応答

6 閉会式

司会 島田工業高等学校PTA 副会長 西畑直希

7 主催者挨拶 島田工業高等学校 校長 飯田龍太郎

8 次期主管校代表挨拶 藤枝西高等学校 校長 竹村祐

(静岡県立島田工業高等学校 教諭 杉浦通之)

掛川地区

期日 7月4日(金)

会場 ふじのくに茶の都ミュージアム

参加数 68名

1 開会の辞 小笠高等学校PTA 副会長 宮城徹也

2 実行委員長挨拶 小笠高等学校PTA 会長 神谷拓郎

3 当番校校長挨拶 小笠高等学校 校長 小木充

4 来賓挨拶 静岡県公立高等学校PTA連合会 副会長 原拓也

5 講演会及びお茶の入れ方講座

講師 戸塚彩子氏(日本茶シニアインストラクター)

演題 「お茶がつなぐ家族のだんらん」

- ・地域の基幹産業であるお茶の歴史及び地域で果たしてきた役割
- ・静岡県の茶業における現状
- ・家庭でお茶が果たす役割。高校生、大学生の母親としての視点から
- ・お茶の入れ方講座、実習
御前崎市の「つゆひかり」菊川市の「深蒸し煎茶」掛川市の「天音」の3つのお茶を実際に淹れ試飲しました。
- ・意見交換
試飲を行いながら、味比べや講演の感想等意見交換を行った。



講演会の様子



講師による演示

6 閉会式

次回当番校 P T A 会長挨拶

掛川西高等学校 P T A 会長 相場啓嗣

閉会の辞

小笠高等学校 P T A 副会長 齋能由行

7 施設見学

ふじのくに茶の都ミュージアム見学

(小笠高等学校 教諭 高木農)



三種類の茶葉を比較



急須での実習



振り返り

磐田地区

期 日 7月24日(木)

会 場 ワークピア磐田

参加数 115名

(第1部)

1 開会の言葉

磐田北高等学校 P T A 副会長 野口美樹

2 挨拶

磐田農業高等学校 P T A 会長 磯部将紀

3 理事校校長挨拶

磐田農業高等学校 校長 磯部正之



磯部会長のあいさつ

4 来賓挨拶
静岡県公立高等学校PTA連合会 副会長 原拓也

5 県・東海大会報告
磐田北高等学校PTA 会長 堀尾崇之
(第2部)

6 講演会

講師 塩崎明子氏 (命つながる家系図(株)みそら代表取締役)

演題 「誇り高く生きるための心の根っこづくり～大人になる高校生に知ってほしいことと保護者ができること～」

講師の塩崎明子氏から家系図からみた先祖、家族の大切さを話していただいた。ご家庭のことをユーモラスに話され、「苦境に見舞われても、何とかなる」と家族で楽天的に解決してきた話は、聞き手に勇気と感動を与えました。家系図という、あまり馴染みの無い紙を意識すると、自分が生きているのはご先祖様の努力のたまものだなと実感できました。すると、今いる家族やご先祖様、お墓や住まい周辺の何気ない自然環境が、いかに大切なものであるか再認識することができました。この講演から、他者に対して、もっとやさしく接しようと思えることができました。



講師 塩崎明子

7 御礼挨拶及び花束贈呈

磐田農業高校 校長 磯部正之

本日は、ご自身の豊富なご経験と深い洞察に基づいた貴重なご講演をしていただき、誠にありがとうございます。実は、講演前に塩崎家の長い家系図を見せていただいたときに、以前一緒に働いた先生の名前を見つけて、本当に繋がりはあるんだなと思い驚きました。また実際に家系図を書いたときには、なかなか埋められないものだなとその難しさを感じました。

私たちは日々の生活の中で、とかく目の前のことに追われがちですが、先祖を含めて自分のルーツ、家族のつながりを見つめ直すことは、アイデンティティを持ち、これからを力強く生きるための大切な心の根っこを知る機会となり、感動、幸せ、誇り等につながるといってお話が本当に印象に残りました。

8 閉会の言葉 磐田農業高等学校PTA 副会長 袴田晴美

(磐田農業高等学校 教諭 山本智久)

浜松地区

期 日 6月13日(金)

会 場 浜松 呉竹荘 蓬莱の間・末広の間

参加数 100人

1 概要

6月13日(金)に、浜松 呉竹荘にて浜松地区公立高等学校PTA連合会総会・指導者研修会(講演会・分科会)・情報交換会を開催した。参加は加盟26校(分校2校含む)延べ100人で、総会では令和6年度事業報告・決算報告、令和7年度役員選出・承認、令和7年度事業計画・予算案の承認が行われた。

2 指導者研修会・講演会（90分）

明治学院大学心理学部（教育発達学科）教授渋谷恵先生を講師として招聘し、「多様性（Diversity）が問いかける日本の教育課題～アメリカの教育研究・実践における『特権』概念から考える～」との演題による講演を聴講し、「特権」を体験的に理解するワークショップ（ゲーム）を行った。以下に概要を記す。



指導者研修会（講演会）の様子

多様化が進む日本の教育課題として、人種・国籍や言語・文化の他に、宗教、性別・性自認、社会的経済的状況（家庭環境・貧困）、価値観・ライフスタイルの多様化など、これまで見えてこなかった多様性が表面化しており、学校・社会がこれらの多様性をどう受容していくかが解決すべき課題となっている。

アメリカにおける多文化教育の理論と実践によると、文化的な違いを認め、尊重しあい、誰もが大切にされる社会的に公正な学校づくりが重要となる。そのためには「文化理解」だけでなく、システムとしての学校を見直すことが必要である。一方、多様性の中にある平等・公正に関して意識することが難しいのは、多様性の中にある力関係（「特権」）を認識することができないからだ。「特権」とは「ある集団に属することで、労なくして得られる優位性・権力」と定義され、特権を持つ人は自分が持っている特権に気づかないし、「特権」を持たない人を理解することが難しい。また、両者への力の配分の違いにも気づかない。社会・集団におけるマイノリティとマジョリティを決定するものは「人数」や「規模」の大小ではなく、潜在的に所有する「特権」が大きいか、小さいかに依存する。言わば「特権」を持つということは「自らの規範が暗黙のうちに優先される社会の中で有利な立場に立っている」ことを意味し、「当たり前すぎて意識しにくい」ものである。



ワークショップ（振り返り）の様子

以上の説明に続き「特権」を体験するワークショップとして「ボール投げゲーム」を行った。参加者はA4紙を丸めてボールを作り座席から一斉に舞台上の的に投げ込む。前2列・中4列・後2列で8人程度のグループを作り、的中したボール×10点で勝敗を競う。終了後にワークシートでゲームを振り返り、周りの参加者と協議した。考察として、前2列のグループは位置的な「特権」が大きく、集団のマジョリティである。一方、後方の参加者の苦戦は予想できるものの、見えていないからその存在を実感できていない。中4列のグループも得点が期待できる位置にいてマジョリティに属す。だが、四隅の方や後方に近い方、女性の方は位置的・身体的な「特権」が小さくマジョリティとは言えない。後2列のグループは位置的な「特権」は非常に小さく、マイノリティである。ゲーム前に座席を離れて投げてよいかなどの質問があったが、平等な条件としてこれらは却下され、ルールに従わざるを得ない状況が生まれた。

このゲームのルールは万人に公平である。しかし、座席の位置で「特権」の大きさが変わり、マジョリティ・マイノリティが形成されてしまう。講演のまとめとして「構造的問題として、不利な立場からの声が届きにくく、制度的不平等への諦めが生まれることに制度変革の困難さがある」「特権保持者は他者の不利を認識しつつも行動しないことが問題であり、特権の無自覚性が問題の本質となっている」とし、マイノリティの声をしっかりと聞き、支援・サポートを行うと同時に、マジョリティ側の意識を変容させるよう働きかけを行うことが重要だとされた。

3 指導者研修会・分科会（50分）

分科会では「P T A活動再考～今とこれからの語ろう～」と題してグループ討論会を行った。グループにはP T A会長1人を司会者に、校長1人を助言者として配し、同じ学校の参加者が極力重複しないように全12グループを形成した。初めに各参加者から自己紹介と各校P T Aの活動事例を紹介してもらい、続いてP T A活動に関する困り事や悩み事について討論し、対処法や解決法などの情報交換を行った。各グループの討論内容（抜粋・集約）は以下のとおり。



分科会(グループ討論)の様子

- ・P T A入会・会費の支払いを拒否する保護者が増えている。P T A会長や役員を選出・決定もスムーズにいかないため、何か良い方法はないかと模索している。女性のP T A会長がもっと増えると良いと思う。外国籍の保護者が多数いる学校では、言語の問題から保護者のP T A活動への参加が難しいため、活動を縮小している。P T A役員を嫌々引き受ける保護者もあり、何か役員としての特典（学校行事の際の駐車場確保など）があると良いと思う。
- ・新しい学校ではP T A組織・活動も刷新され、経験者が少なく、これまでの流れを聞ける人がいないので、P T A活動の進め方に苦慮している。ある学校では子供の卒業後も役員が顧問などの職名でP T A活動に関わっており、うらやましく感じる。
- ・コロナ禍以後、P T A総会を小規模（書面開催など）で行うことで総会の運営や役員挨拶もなくなり、P T A役員としては負担の軽減を感じる。高校生や他の保護者の前に立つとしても、先生と違い距離感が難しいと感じていることを理解してほしい。
- ・P T A組織が複数の委員会に分かれており（進路・交通・広報・国際交流など）活発に活動している学校もある。P T A役員が負担を感じることもあるが、伝統的に継続しており、変えることが難しい。
- ・文化祭や学校行事の際に、P T A活動としてバザー（物品・食品販売など）や炊き出しを行っている。近年は行事の廃止でP T Aが活動する場面も失われつつある。コロナ禍でノウハウの伝達が途絶え、復活できない活動もある。
- ・P T Aとして学校に「何かやりましょう」ではなく「こういうことをやりたい」と提案すべきと感じている。本来の「P T A」の主旨に立ち、先生（学校）

と保護者が学校生活全般の情報を共有し、話し合える場面・環境を作っていきたい。PTAは文化祭やイベントを目的とした組織ではなく、学校・保護者・地域が連携して教育活動を行い、何らかの社会的達成を得るための組織であるとの視点に立ち、PTA活動を再考していきたい。

(浜松工業高等学校 教諭 田京伸一)

特別支援学校

●期 日 6月7日(土)

会 場 静岡県男女共同参画センター あざれあ

参加数 67人

司 会 掛川特別支援学校 伊藤志保

I 総会

1 開会のことば 東部特別支援学校 福岡恵美

2 会長あいさつ 浜松聴覚特別支援学校 沖野麻美

3 来賓祝辞 静岡県公立高等学校PTA連合会 会長 住吉明

4 来賓紹介 静岡県公立高等学校PTA連合会 会長 住吉明

5 議事 (1) 令和6年度事業報告並びに決算報告算について

(2) 令和7年度新役員について

新会長あいさつ 静岡聴覚特別支援学校 遠藤秋子

(3) 令和7年度の事業計画および予算案について

※活動計画・予算案とも承認

6 閉会のことば 東部特別支援学校 福岡恵美

・予算について繰越金が高額で膨らみ続けている課題について質問があった。会費を会員に還元できる使途について、アンケート取って検討することとなった。



総会の様子

II 静岡県教育委員会より

来賓紹介 静岡県教育委員会特別支援教育課

課長 山村仁 指導監 飯塚昌夫 人事監 上村英昭

「静岡県における今後の特別支援教育の展望」

「課長挨拶」

・令和7年度特別支援学校教育推進体系図について

「県の特別支援教育の現状」

・令和6年度の要望事項を受け、県からの回答も含めた説明。

1 教育施設・設備の充実等

(1) 静岡県の特別支援学校の現状

・平成16年度は全体で3,447人、令和7年度は4,973人。視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、訪問が減る中、知的障害は、平成16年度に2,122人、令和7年度に4,332人と20年で約2倍に増えている。

(2) 教育施設の充実

- ・知的障害の特別支援学校の狭隘化、児童生徒の通学負担の軽減、肢体不自由学校の校舎の老朽化対応として、平成25年度以降、本校4校、高等部分校4校を開校。移転改築が4校。今後、令和8年度に、静岡地区に「するが視覚総合特別支援学校」、浜松地区に「浜松特別支援学校江之島分校」、令和9年度に、中東遠・浜松地区に「旧磐田市立豊田北部小学校に本校新校（知的障害、肢体不自由(小、中、高))」を開校予定。

(3) 教育施設・設備の充実

- ・スクールバスは過去10年で19台増車している。
- ・令和3年度には特別支援学校全校のトイレの洋式化が完了した。
- ・空調設備について、普通教室は令和元年度末に、特別教室も令和2年度末に整備が完了した。
- ・タブレット端末については、令和2年度に小中学部に1人1台端末が、令和3年度に高等部に各校10~20台ずつ整備され、今後も児童生徒数の増減より不足分の整備も行う。



教育委員会からの説明

(4) 推進事業等

- ・令和元年度より県下全域で地域の小中学校に「交流籍」を導入し、交流籍を活用した交流及び共同学習を実施。令和6年度は、1,074人であった。実施数は令和2,3年度にコロナ禍の影響で減少したが、その後増加し、ICTを利用した間接交流等、新たな実践も増加している。
- ・視覚特別支援学校、聴覚特別支援学校における超早期教育について、早期発見、視機能や聴覚機能を高めることや保健・医療・福祉機関等と望ましい連携を図ることを目的としている。内容について、視覚特別支援学校は、乳幼児発達支援指導員を配置し、個別相談、集団相談、保護者学習会等を実施する。「視覚障害のある子どもの早期支援を考える会」を開催し、関係機関による情報交換等を実施する。聴覚特別支援学校は、乳幼児教育相談マネージャーを配置し、乳幼児教室や教育相談等を実施する。乳幼児教育相談マネージャー連絡会を実施し、各校の取組状況や課題等を共有する。
- ・医療的ケアの学校体制による人工呼吸器管理への対応として、令和6年度から学校看護師を増員し、令和5年度までのモデル事業において作成したガイドラインに基づき、学校看護師が人工呼吸器管理を行う学校体制へと移行した。
- ・県立学校医療的ケア児就学支援事業について、保護者付添い負担の軽減を図り、医療的ケア児が安定して学習を継続できる体制を整備することを目的に、保護者に代わり、委託訪問看護師が当該児に付添い医療的ケアを行う在校時支援、通学時支援を実施する。

2 教職員について

(1) 専門性の高い職員の配置

- ・求められる専門性に対応できるための工夫を行っている。社会人活用の特別非常勤講師を活用し理学療法士、作業療法士を配置し、指導に生かしている。
全ての特別支援学校に看護師を配置している。
- ・専門職経験を有する者（看護師や理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を3年以上勤務経験）を対象とした選考により、自立活動教諭の採用も行っている。
- ・外国籍の子どもの増加に対し、各教育事務所と連携し、通訳・翻訳を実施している。
- ・就労促進専門員は12の拠点校に1日5時間、週4日、18週で配置している。
- ・司書教諭を配置し学校図書館利用の指導や図書整備などを行っている。

(2) 教職員育成の研修の充実

- ・校内研修を充実させ、OJT体制の整備を奨励している。
- ・経験年数に応じ、初任者、2年次、3年次、6年次、中堅教諭、資質向上、キャリア開発研修（45歳、55歳対象）の経験段階別で研修を行っている。
- ・職務別研修も実施している。
- ・国立特別支援教育総合研究所や県内の教職大学院、または、民間企業への派遣などし、広い視野や意識を広げるための育成につなげている。

(3) 採用試験志願者増や同性介助のための男性教員の増員への対応

- ・特別支援学校の男子児童生徒の割合7割弱である。男性教員割合は、令和6年度は36.2%、令和7年度は36.6%である。
- ・採用試験志願者増に向けて、県内5つの大学でのガイダンスや県内3会場で義務教育課、高校教育課と合同で中高生対象教職セミナーを実施している。また、特別選考（大学推薦、寄宿舍指導員経験者を対象とした選考、障害者福祉サービス事業所経験者を対象とした選考、社会人経験者を対象とした選考）や加点申請（養護教諭、視能訓練士、手話通訳士、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士の資格、県内の特別支援学校でのボランティア経験）の新設をした。

●期 日 1月24日（土）

会 場 静岡県男女共同参画センター あざれあ

参加数 55名

第2回代表者会

司会 清水特別支援学校 青木清之

1 開会のことば 掛川特別支援学校 伊藤志保

2 会長あいさつ 静岡聴覚特別支援学校 塚本順子

9月13日の第1回代表者会で出された要望事項をまとめ、11月20日に

県教育委員会の特別支援教育課長へ提出。子供たちの学校生活、施設、通学支援などについて約1時間懇談した。回答は来年度6月の総会で得られる予定であることを報告。また、本年度6月7日の特P連総会で「繰越金が積み上がっていることへの対応が必要であること」、9月13日の第1回代表者会で「特P連として義援金など協力体制が取れるよう、規約の作成を検討できることへの賛成多数（28校）。これらの意見を基に、事務局で案を作成し、令和8年度の総会で提案することについての伝達。

3 講師紹介 静岡聴覚特別支援学校 校長 佐藤容子

講師は同校の卒業生。2025年デフリンピック東京大会 レスリング日本代表。船川選手の母校への思いや、現役生徒との交流エピソード（実際に学校を訪れ、生徒とレスリングで触れ合ったことなど）を紹介。当時の恩師（市川先生）からの「非常に真面目で、目標に向かって真っ直ぐ取り組む子供だった」というエピソードを紹介。

4 講演

講師 船川真央氏（(株)ミライト・ワン勤務 デフリンピックレスリング日本代表）

演題 「“できない”を“できる”に変える力

～障害と共に生きる、私の半生とデフリンピックへの挑戦～

・自己紹介

静岡市駿河区出身。現在は東京在住。株式会社ミライト・ワンにて経理の仕事（13年勤務）をしながら、レスリングを続けている。趣味：旅行（フランス、スペイン等へ一人旅）、映画鑑賞、ドライブ、ソロキャンプ



講演する船川氏

・レスリングとの出会いと歩み

小学2年生で開始。1年間は負け続けたが、小学6年生で初めて全国大会優勝。中学まで静岡聴覚特別支援学校に通い、レスリングクラブで健聴者と共に練習。高校は「健聴者と一緒に勉強したい」という強い希望で、焼津水産高校へ進学。

・障害と教育環境

2～3歳で聴覚障害が判明。両親は「障害に関わらず、普通の人と同じように生活させる」という教育方針だった。高校時代の授業は、ノートテイクの先生が横についてサポートしてくれた。

・挫折と再起

高校3年生の時、試合中に肩を脱臼。怪我をきっかけに一度レスリングを引退。20年間のブランクを経て、後輩からの「デフリンピックがある」というメールをきっかけに30代後半で現役復帰を決意。「耳が聞こえなくてもできることを証明したい」という思いで、1年間の猛練習（早稲田大学等での出稽古）を経て日本代表に。レス



会場の様子

リングの魅力と競技生活についてフリースタイル

とグレコローマンスタイルの違いの解説。コミュニケーション方法は、スマホの音声認識アプリや筆談、ジェスチャーを駆使して、健聴者のコーチや選手と意思疎通を図っている。デフレスリングの競技人口が少ないため、もっと増やしていきたい。

・今後への想い

職場でも手話を覚えたいという社員が増えており、社内に手話クラブを作る予定。「人との繋がりや縁を大切にしたい。挑戦に遅すぎることはない。」

5 質疑応答

Q 1 : レスリングをやる上で聴覚障害があり、大変なことはあるか？

A 1 : 新しい技を覚える際、説明が聞き取れないことが多い。自分から積極的に聞きに行き、何度も繰り返してもらう必要があること。

Q 2 : 障害がある子の親として、先回りして心配してしまう。船川さんは子供の頃、親のどんなサポートが嬉しかったか？

A 2 : 両親が「何も言わずに見守ってくれたこと」「自分を信じてくれたこと」が一番嬉しかった。

Q 3 : 船川選手がこれまでで一番大切な出会い、つながりはどんなものか？

A 3 : 格闘家の故・山本 KID 徳郁さんとの出会い。「レスリングをもう一度やりなよ」という言葉が人生を変えた。

6 お礼の言葉 東部特別支援学校 福岡恵美

本日は貴重なお話を伺い、素敵なお縁に導かれて歩まれてきた人生に深く感動した。「やってみよう」と挑戦を受け止める前向きな姿勢が、とても心に残った。「信じてもらえたことが一番嬉しい」という言葉が胸に響き、親として大切な気づきを得た。

7 閉会のことば 東部特別支援学校 福岡恵美

8 感想

- ・船川さんのお話から、人とのつながりや出会いの大切さを強く感じた。御家族の見守りや環境づくり、本人の前向きな姿勢が今につながっていることに感動した。子どもを信じ、挑戦を支える姿勢の大切さを学んだ。
- ・多くの保護者が、船川さんの御両親の育て方に感銘を受けた。障害があるからと過保護にするのではなく、一般の学校で共に学ぶ環境を整え、本人の「やりたい」という意思を尊重し続けた姿勢が、船川さんの自立心と強さを育んだのだと再確認した。

(静岡聴覚特別支援学校 副校長 大橋幸彦)

高校生善行表彰 表彰校・表彰者一覧

本年度も高校生善行選考委員会を開催し、以下の個人・団体を表彰しました。

第1回選考

【個人の部】

※以下敬称略

NO	学 校 名	氏 名 <small>ふり がな</small>	学 年	推 薦 区 分
1	静岡県立静岡高等学校	みずの まこと 水野 真琴	3	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年2月5日午後3時頃、静岡市葵区城東町において自転車で転倒した年輩女性を目撃して、すぐに駆け付け手を添えて身体を支え、温かな声かけで励まし救助・介抱にあたった。				
2	静岡県立浜名高等学校	やまだ ゆうま 山田 悠真	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
3		かめおか このは 亀岡 瑚羽		
(理由) 令和7年2月 14 日午後5時頃、遠鉄電車西鹿島駅において、気分が悪くなり意識を失いかけていた女性を介抱し、女性の夫が到着するまで付き添い続けた。				
4	静岡県立浜名高等学校	はっとり ななと 服部 七音	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
5		やまもと 山本 ダイゴ		
(理由) 令和7年4月21 日午前7時45分頃、路上で転倒し手首を骨折して泣いている小学生を発見し、すぐに駆け寄り声をかけて介抱し、家まで一緒に送り届けた。				
6	静岡県立浜松湖東高等学校	いとう りょうが 伊藤 諒芽	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
7		やすだ こうたろう 安田 康太郎		
(理由) 令和7年4月 11 日午後4時半頃、浜松市中央区伊左地において、自動車の単独事故を目撃し、緊急通報をした上で警察からの質問等にも的確に対応し、事故対応を冷静に行った。				
8	静岡県立浜松湖東高等学校	まるい はると 丸井 大翔	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年4月 17 日夕方、浜松市中央区初生町において、自動車事故に遭遇し、乗車していた外国籍の方の話を聞き、警察に状況説明をしながらい関係者が落ち着くまで寄り添った。				
9	静岡県立浜松湖東高等学校	すずき ゆうと 鈴木 悠斗	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年6月5日午後5時半頃、浜松市中央区高丘交番付近で、定期券を失くしてバスに乗れず立ちすくんで泣いていた小学生を見かけて声をかけ、気持ちをなだめて一緒に母親を待った。				

10	静岡県立浜松湖東高等学校	おんだ 恩田 みらい	3	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年5月16日午後7時半頃、浜松市中央区葵西の路上において、シニアカーの車輪が溝にはまり動けなくなった高齢男性を目撃し、落ち着かせながら車輪を持ち上げて帰宅を支援した。				
11	静岡県立浜松工業高等学校	ゆみげた ようた 弓桁 陽太	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
12		しばた るい 柴田 琉生	1	
(理由) 令和7年7月18日下校中に、浜松市中央区小豆餅において、座り込んでいる高齢者男性を発見し、ペットボトルの水を飲ませ日傘で日陰をつくり、救急車が来るまで高齢者を介抱した。				
13	静岡県立湖西高等学校	すずき まりみ 鈴木 毬未	3	(2)善行 ア 救助・救援活動
14		かわむら りおな 川村 莉欧那		
15		たなか 田中 ゆりあ		
(理由) 令和7年5月20日午前8時頃、JR高塚駅構内において、ふらふらしてホームや階段から落ちそうになっている女性を見つけて声を掛け、警察に通報し保護へとつなげた。				
16	静岡県立科学技術高等学校	ながしま るい 長嶋 琉伊	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年7月8日朝通学中に地下道において、自転車で前方を走っていた高校生が転んで頭を打った様子を目撃し、止血処理やその後の対応を行い、救急搬送されるまで寄り添った。				
17	静岡県立駿河総合高等学校	おおかわ みその 大川 実苑	3	(2)善行 ア 救助・救援活動
18		かやもり めりい 榎守 芽里衣		
(理由) 令和7年6月17日午後4時頃、静岡大橋付近で倒れていた高齢女性を熱中症と判断し、身体を支え近くで買ってきた飲料水や氷をあてがい、救急車や警察が付くまで声をかけ励まし続けた。				
19	静岡県立掛川東高等学校	すずき こうせい 鈴木 煌生	1	(3)その他 PTA会長及び校長が、特に表彰に値する行為であると認めたもの
20		つちしろ ゆうと 土代 悠人		
21		もりた いっき 森田 一生		
(理由) 令和7年7月20日午後6時頃、森町の商業施設で3歳の子が売り場のたくさんの商品を散乱させていたため、一人が抱き上げてあやし他の二人が商品を元の場所に戻し家族から感謝された。				

22		くさが おうすけ 草賀 櫻介		
23	静岡県立掛川工業高等学校	さとう りく 佐藤 哩久	1	(2)善行 ア 救助・救援活動
24		たかの としあき 高野 利瑛		
(理由) 令和7年4月9日8時頃、掛川駅の北側において、横断歩道を渡りきれず困っていた白杖を持った高齢男性を、自転車から降りて手を引いて誘導して安全な横断をサポートした。				
25	静岡県立掛川工業高等学校	あさい ひでき 浅井 秀喜	3	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年7月29日10時頃、掛川市細田において、熱中症で路上でうずくまった高齢女性を日陰の風通しの良い場所に移し、首筋を冷やした上で近隣住民に水分補給及び救急連絡を依頼した。				
26	静岡県立伊豆伊東高等学校	みずやま ひろと 水山 博翔	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年7月31日、伊豆急川奈駅で倒れた老人を発見し、駅員に連絡した上で自分の乗車を見合わせ、周囲の乗客とベンチに運び上げて安全を確保して、救急隊に搬送されるまで付き添った。				
27	静岡県立相良高等学校	なかむら ほのか 中村 穂乃花	3	(1) 奉仕活動 ア 社会福祉施設等への慰問や奉仕活動 イ 地域社会の環境美化活動
(理由) 学校のSCH活動に3年間で累計18回参加し、清掃活動だけでなく地域の問題を話し合うプロジェクトや小さな子供と関わるボランティアなど、いろいろな取組に積極的に活動した。				
28	静岡県立遠江総合高等学校	ふじわら みゆ 藤原 未悠	3	(2)善行 イ 犯罪防止や防犯への協力
(理由) 令和7年8月23日午後2時頃、家族で訪れた海岸でカバンを物色する不審な人物の様子を撮影し、犯行の一部始終を撮影することができたため、犯人逮捕と被害拡大の未然防止につながった。				
29	静岡県立御殿場高等学校	おおみち いちか 大道 一花	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年8月自宅付近で認知症の高齢女性の介抱と救急隊への連絡、市内商業施設で段差を上げられずにいた車いすの女性の介助と、二度にわたって困った立場にあった人を支援した。				
30	静岡市立清水桜が丘高等学校	やまもと けんしん 山本 健心	3	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年8月12日午後5時頃、静岡市の商業施設で意識を失って倒れている方を発見し、救命講習で使い方を学んだAEDを用いて救助にあたり、救急隊員へ救援を引き継いだ。				

31	静岡県立伊豆中央高等学校	えんどう かれん 遠藤 華恋	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年8月 22 日午後1時頃、道路でうずくまっていた高齢女性を発見し、その様子から熱中症であると判断し涼しい木陰に連れていって看病し、通行人に救急車の手配をもらった。				
32	静岡県立浜松大平台高等学校	はが ゆうたろう 芳賀 悠太郎	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年9月8日午前7時 30 分頃、登校中に浜松学芸高校付近で倒れている高齢の女性を発見し、本人に様子を聞き介抱しながら周囲に助けを求め、通行人に救急車を手配してもらった。				
33	静岡県立磐田西高等学校	すずき れいな 鈴木 麗菜	3	(2)善行 ア 救助・救援活動
34		やました えみ 山下 恵実		
(理由) 令和7年4月 18 日午前 8 時 10 分頃、学校近くの道路で迷子になった小学1年生の児童を発見し、声をかけて小学校まで歩いて付き添い、校門にいた小学校の先生に事情を話し引き渡した。				

【団体の部】

NO	学 校 名	団体名称	推薦区分
1	静岡県立掛川工業高等学校	バスケットボール部	(3) その他 PTA会長及び校長が、特に表彰に値する行為であると認めたもの
(理由) 令和7年8月 31 日、学校で地域の広域避難所運営訓練と部の公式戦で多くの来場者があり交通渋滞を起こしていた中で、自分たちの試合準備を中断して交通整理を率先して行い、駐車スペースへの誘導や来校者への状況説明などを行い、円滑な行事の進行につなげた。			



第2回選考

【個人の部】

※以下敬称略

NO	学校名	氏名	学年	推薦区分
1	静岡県立浜松湖東高等学校	おおた しゅうと 太田 修翔	1	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年 10月8日 12時 45分頃、浜松市内の道路上で倒れていた高齢の女性を近隣の方と協力して体勢を整え、荷物を安全な場所に移動させ救急車が到着するまで寄り添った。				
2	静岡県立浜松湖東高等学校	おおつか ゆうと 大塚 勇斗	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
3		まつざき せいや 松崎 正弥		
(理由) 令和7年 10月 17日 19時頃、浜松市内で道に迷っていた視力障害者の男性に声をかけ、自宅近くの安全な道まで付き添った。				
4	静岡県立浜松湖東高等学校	やまもと みやび 山本 京美	3	(2)善行 ア 救助・救援活動
5		うちだ りこ 内田 莉子	1	
6		かわもと こはる 川本 小春		
(理由) 令和8年1月 28日午前7時 30分頃、通学中のバス内で停留所を乗り過ごし困っていた小学 1年生の児童に声をかけ一緒に途中下車し逆方向のバスに乗って小学校まで送り届けた。				
7	静岡県立清水東高等学校	もちづき ゆうた 望月 祐汰	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年 10月 10日午後4時頃、学校近くで倒れていた高齢男性を見かけ、周囲の人と協力して救急車の手配や救命処置並びに警察への状況説明を行うなど冷静に対応した。				
8	静岡県立藤枝東高等学校	かさばら あいり 笠原 和莉	1	(2)善行 ア 救助・救援活動
9		ほりい あやは 堀井 文菜		
10		むらまつ あおい 村松 蒼唯		
(理由) 令和7年 10月 15日下校時、藤枝市内の道路上で自転車で転倒し頭部を負傷した高齢男性に声を掛け、意識やけがの状態を確認して救急車を要請するなどの救援活動を行った。				
11	静岡県立藤枝東高等学校	わたせ あやか 渡瀬 絢馨	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
12		まきの ゆい 巻野 結衣	3	
(理由) 令和7年 11月 19日午後7頃、道路を横断中の男性にバイクが衝突する事故を目撃し怪我人の安全を確保した上で緊急通報し、救急車到着まで付き添うとともに状況を的確に説明した。				

13	静岡県立島田商業高等学校 (定時制)	コラルテ・ ジョセフ	4	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年5月20日午後5時頃、登校中路上で頭に怪我をしている高齢男性を発見し、声をかけた上で当人が歩行困難であったため肩を貸して自宅まで送り届けた。				
14	静岡県立吉原工業高等学校	やまがた ひより 山形 陽和	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年の夏休み、岳南原田駅で男子小学生が線路に降りて落とし物を取ろうとする光景を見て危険行為と判断し、小学生を抱きかかえ、人身事故を未然に防ぐとともに家族に引渡した。				
15	静岡県立浜松西高等学校	いとう ゆうま 伊藤 悠真	1	(2)善行 ア 救助・救援活動
16		すずき はると 鈴木 遥斗		
17		なかむら えいと 中村 榮斗		
(理由) 令和7年10月26日午後6時頃、JR東海道線の電車内で乗客が倒れたところを目撃し、素早く車掌に救助を要請するとともに見守りを行った。				
18	静岡県立袋井商業高等学校	にしお みらい 西尾 未来	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年11月19日午後6時頃、下校中に掛川市内の用水路に前輪を脱輪させた軽トラックに気づき第一発見者と共に車を後方に押し上げて路上に戻し運転者を救助した。				
19	静岡県立新居高等学校	あらい はるや 荒井 晴耶	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
20		かとう れお 加藤 伶凰		
21		にはし せり 二橋 芹		
(理由) 令和7年11月16日午後8時頃、舞阪駅で倒れた高齢男性を発見し意識が無く痺れんがみられた為、声掛けをするとともに緊急通報を行い、救急隊が到着するまで救助活動を行った。				
22	静岡県立浜名特別支援学校	ふじわら ゆうが 藤原 悠雅	高 2	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年11月19日登校中、男性が車道で倒れた様子を見て安全な歩道に移動させ、持病や通院歴を確認後、救急車を要請し救急隊が到着するまで寄り添い無事に引き継いだ。				
23	静岡県立浜北特別支援学校	おおの かえで 大野 楓	高 1	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年12月18日午前7時35分頃、浜松市内の路上で男性が倒れているのを目撃し周囲の方に緊急通報を依頼した上で介抱を続け、救急隊に状態を説明するなどの確な救援を行った。				

24	静岡県立富士東高等学校	いっしょ 一蝶ももか	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年11月20日夕方、富士市内の歩道上で後頭部を負傷し倒れていた高齢女性を発見し、迅速な緊急通報や止血及び保温など適格な応急処置を実施し救急隊へ引き継いだ。				
25	静岡県立富士東高等学校	よしだ まお 吉田 真桜	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年11月19日夜、吉原駅周辺を一人で歩いている高齢男性を見かけ、行方不明者情報を確認した上で通報し駆け付けた警察官と共に声を掛けるなど、無事男性の保護に貢献をした。				
26	静岡県立清流館高等学校	みずの こうた 水野 煌太	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
27		むらまつ たいが 村松 太河		
28		やぎ はると 八木 悠斗		
(理由) 令和7年11月28日、焼津市内の国道沿いで動けなくなっていた高齢女性を目撃し、三人で協力して女性に頼まれた連絡先への連絡や見守りを続けて、無事に家族に引き渡した。				
29	静岡県立清流館高等学校	ながさか ひると 長坂 太斗	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年9月13日午前9時30分頃、藤枝市民グラウンド近くで自動車事故を目撃し緊急通報して救助を要請するとともに、救急隊が到着するまで運転手に声をかけ励ますなど適切に対応した。				
30	静岡県立清流館高等学校	すずき しんえい 鈴木 心英	3	(2)善行 ア 救助・救援活動
(理由) 令和7年12月4日7時45分頃、登校中頭部に怪我をして意識を失っている高齢男性を目撃し、誤った場所に行こうとした救急車両を誘導し、居合わせた人と協力して適切な救助活動を行った。				
31	静岡県立下田高等学校	やまもと けいた 山本 啓太	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
32		てらしま きらり 寺嶋 煌莉		
(理由) 令和7年10月23日午後7時30分頃、街灯が少なく暗い路上でバス停から帰宅できずに困っている目の不自由な高齢者を見かけ、手を携えて自宅まで無事送り届けた。				
33	静岡県立浜名高等学校	ふじた こうだい 藤田 煌大	2	(2)善行 ア 救助・救援活動
34		まつたに りょうた 松谷 亮汰		
(理由) 令和8年2月5日夕方、部活動中近くの道路において自転車で転倒した小学生男児に気づき、駆け付け傷の状況を確認し、小学校の先生が到着するまで介抱にあたった。				

表彰式スナップショット



伊豆伊東高校



科学技術高校



静岡高校



駿河総合高校



相良高校



掛川東高校



浜松湖東高校



浜名高校



湖西高校1



湖西高校2

静岡県公立高等学校PTA連合会

〒420-0853 静岡市葵区追手町3-11

しずおか焼津信用金庫追手町ビル6階

電話番号 054-255-4678

FAX番号 054-255-4699

E-mail : post@hs-pta-shizuoka.net